

## ボツワナ共和国月報(2021年7月)

### 主な出来事

#### 【内政】

●COVID-19関連政府措置(7月16日から8月17日まで学校を封鎖、7月15日から追って通知があるまでCOVID-19ゾーン間の移動を禁止)

●冬期国会の開会

●南ア及びエスワティニへの渡航自粛勧告

#### 【外政】

●ザンビア初代大統領国葬へのマシシ大統領の参列

●第13回米・アフリカ・ビジネス会合へのマシシ大統領参加

●ボツワナが国連経済社会理事会議長国に

#### 【SADC】

●エスワティニへのSADC閣僚チーム派遣

●SADCスタンバイフォースのモザンビーク派遣協定書の手交

#### 【経済】

●セラメ財務・経済開発大臣、世銀からの財政支援ローン借入につき国会承認を求めていく

●シュンバ・エナジー社、100メガワット太陽光発電プラント向け発電ライセンスを取得

●ボツワナにおける空路での移動人数増加

#### 【内政】

##### ○COVID-19 関連政府措置

(1) 13日、マシシ大統領は、国営放送BTVを通じCOVID-19、経済対策、南部アフリカ地域の安全保障の現状等につき声明を発表し、7月16日から8月17日まで学校を封鎖することとした。

(2) 15日、ディコロティ保健大臣は、同日から追って通知があるまでCOVID-19ゾーン間の移動を禁止すると発表した。

##### ○冬期国会の開会

5日、本年の冬期国会が開会された。本国会は、8月13日までとされており、14の法案及び343の質疑が行われる。

##### ○南ア及びエスワティニへの渡航自粛勧告

13日、外務国際協力省は、ボツワナ国民に対し、南アフリカにおける暴動事案のため、同国(特にクワズールー・ナタール州及びハウテン州)への渡航を控えるよう勧告をした。また、エスワティニにおける内紛により、同国への渡航も控えるよう勧告した。

## 【外政】

### ○ザンビア初代大統領国葬へのマシシ大統領の参列

3日、マシシ大統領は、故カウ ندا・ザンビア初代大統領の国葬に参列した。

### ○第13回米・アフリカ・ビジネス会合へのマシシ大統領参加

28日、マシシ大統領は、第13回米・アフリカ・ビジネス会合へ参加し、国際協力パートナーに対し、途上国へのタイムリー、公平、公正な価格のコロナ・ワクチン配布を訴えた。

### ○ボツワナが国連経済社会理事会議長国に

22日、ボツワナ外務国際協力省は、ボツワナが2022年の国連経済社会理事会議長国を努めることになったと発表した(任期は2021年7月～2022年7月)。議長は、ケラピレ国連ボツワナ政府代表大使が務める。

## 【SADC】

### ○エスワティニへのSADC閣僚チーム派遣

SADCオーガン議長は2日、暴力騒動が発生しているエスワティニ情勢の解決に向け、SADC閣僚チームを派遣する旨の声明を発出した。

### ○SADCスタンバイフォースのモザンビーク派遣協定書の手交

タックスSADC事務局長は16日、SADCスタンバイフォースのモザンビーク派遣協定書をSADCミッション軍司令官に手交した。同式典には、ムシ・ボツワナ司法・国防大臣、モロモ・ボツワナ大統領府政務事務官兼オーガン議長特別代表、ボツワナ国防軍及び南ア国防軍の高官等が出席。

## 【経済】

### ○セラメ財務・経済開発大臣、世銀からの財政支援ローン借入につき国会承認を求めていく

セラメ財務・経済開発大臣は、ボツワナ通信社のインタビューにて、同大臣が、世銀からの財政支援ローン(26億プラ(約260億円))借入につき国会承認を求めていく予定である旨述べた。同大臣によると、世銀は、既に経済強靱性・グリーンリカバリープログラム開発政策ローンを承認しているが、右ローンがディスバースされるためには国会がこれに同意しなければならない由。

○シュンバ・エナジー社、100メガワット太陽光発電プラント向け発電ライセンスを取得

エネルギー規制当局は、シュンバ・エナジー社に対し100メガワットの太陽光プロジェクトにかかる発電ライセンスを付与した。同社は、ボツワナで大規模太陽光発電プラントを設置する最初の独立系発電事業者(IPP)となる。プロジェクトは2つのフェーズに分けて実施される予定で、6か月以内に第1フェーズの50メガワットのプラント建設が始まる予定。同社は、ボツワナ東部において多数の石炭採掘のライセンスを持っているが、この太陽光事業を最優先しており、南部アフリカパワープール(SAPP)をターゲットにしている。各国で複数プロジェクトが検討されているものの、このスケールで同地域を対象とした太陽光発電の開発は同社のものが最初となる。同社は、電力輸出のためのネットワーク使用につき、ボツワナ電力公社(BPC)と契約を締結する予定。

○ボツワナにおける空路での移動人数増加

ボツワナ統計局によれば、2021年第1四半期に空路で移動した人数は、2020年第4四半期の43,077名に比べ、7.9%増加し46,491名となった。なお、2020年第2四半期が2,704名、2020年第3四半期が14,699名であることから、徐々に空路での移動人数が増えてきている。